

海事 PR 絵本でも

— 福音館書店「ふねをまつ」 —

全日本内航船員の会 事務局

福音館書店が出版する月刊絵本「ちいさな かがくのとも」では、毎月のテーマを通じて子どもたちに「感動」を届けています。

「心が動いて、もっと知りたくなって、自分でやってみたくなる。身近な世界の面白さへの発見。」

2016 年 5 月号、笠野裕一さん作の「ふねをまつ」が発売されました。

今号の「おりこみふろく」では、全日本内航船員の会（事務局 松見）もコラムで参加しています。コラムは、「ちいさな かがくのとも」シリーズの絵本「ふねをまつ」の内容に関連づけられた見開きページで、「おおきなひとのための『ふねをまつ』』というタイトルになります。ここでは、大人であるお母さんやお父さんに向けて、少し大人の内容を紹介しています。

船員の思い。船の魅力。船の役割。港での「お船見」の見どころなど…

この絵本とコラムを切っ掛けに、多くのご家庭で船や船員に親しみを感じていただけるといいなと願っています。（了）

（ちいさなかがくのとも 2016 年 5 月号）

ふねをまつ 笠野裕一・作

港の防波堤の先で、じっと待つ。

なにを待つかって？ 船がやってくるのを待つんだ。きた、きた、船がきた。人や車をのせたフェリーボート、大きな荷物をのせた貨物船、しぶきをたてるモーターボート。でも、ぼくが待っているのはね……。

海辺の町に暮らす男の子の目線を通して、港を行き来するさまざまな船を描きます。

定価（本体 389 円＋税）



作家の笠野裕一さんは、2010 年にも絵本「ふねがきた！」を出版されています。両作品とも、海や港を通じて色々なモノ、物、者が、交流している現実を、いつでも感じさせてくれます。